

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國 其他

對

荒木貞夫 其他

宣誓供述書

供述者 鈴木 木

タカシ

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ツ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ如ク
供述致シマス

- 一、私ノ軍人トシテノ最後ノ階級ハ陸軍大佐デアリマス
- 二、私ハ昭和九年（千九百三十四年）八月曙蒸デ東條英機少將ノ久留米旅團長ニ隨出ノ送別會ヲ開キマシタ
- 三、右會合ノ幹事ハ參謀本部第一課勤務ノ私、陸軍士官學校教官ノ天野貞、陸軍士官學校區隊長ノ橋藤正威等デアリマシタ
- 四、右會合ニ集ツタモノハ參謀本部、陸軍省、教育總監部、陸軍士官學校ニ在職スル將校ノ中カラダケ選ビマシタ。夫レ等ノモノハ東條少將ニ世話ニナツタモノデアリマス
- 私ハ橋本欣五郎ニハ招待狀ヲ出シマセンデシタ、彼ハ當時三島聯隊ニ所屬シテ居リ上記ノ四ツノグループノ何レニモ在職シテハ居リマセンデシタ。更ニ又東條少將ト彼トガ特ニ友好關係ニアツタ事ヲ知チナイノミナラズ彼ヲ招待シナケレバナラヌ特別ノ必要ヲモ感ジナカツタカラデアリマス、以上ノ諸事情ニ依リ彼ハ其ノ會合ニハ列席シマセンデシタ
- 三、私ハ右會合以外ニハ曙蒸ノ會合ノ幹事トナツタ事ハ全然アリマセヌ

昭和二十二年（一九四七年）一月十四日 於

供 進 者

東京都中野區上町四三番地

鈴 木 京

右ハ營立合人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於同所

立 合 人 岩 間 幸 平

良心ニ従ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ黙秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

宣
言
書

(署名捺印)

鈴

木

京